

HAND IN HAND

はんど・いん・はんど

平成3年5月2日
国立婦人教育会
婦人教育情報センター

〔再婚家族、この指とまれ〕

■5月20日、筑摩書房から「再婚時代」が出ます。1988年、1989年の2回にわたって東京新聞に連載したものに、みなさんの手紙やインタビューをまとめた「再婚する？しない？100人に聞きました」と、再婚家族となった方と私の座談会を加えました。この座談会で話して下さったAさん、2人の子をひきとって離婚し、今回、3人の子の父親と恋愛再婚したのですが、彼女いわく「離婚の時やその後、ハンド・イン・ハンドの会でずいぶん多くの人に助けられた。会員の人たちの明るい生き方が参考になったし。再婚もね、お互いに好き同士で一緒になって、家族が増えるのだから覚悟もできていた。でもやっぱり思ってもいなかったことが起きたりいろいろあるでしょ。そういう時にね、話しあえる仲間がいるといいなと思うの。やっぱりまわりにはまだ再婚家族って少ないのよね。」

■前の奥さんの写真を夫が大事に定期入れに入れているのを発見した時の気持。子どもが黙って別れたお母さんと会っていた時。自分の子どもが夫の連れ子に虐待されているのを知った時——大きなところではうまくいっているのだから、小さいことには目をつぶろうとしても心穏やかでない。そんな時、話せる人がいて、先輩の知恵が見習えたらと思うのはAさんだけではないはず。妻だけでなく、夫婦で「再婚家族交流会」を作ったっていい。このハンドにも再婚家族は多いので「再婚家族、この指とまれ」でAさんたちを囲んで交流会を持ちたいと思っています（6月23日予定）。

■また、再婚した人、したい人、これからする人のさまざまの悩みを聞く「再婚110番」を5月27日（月）～29日（水）の3日間、午後3時～6時の間、5本の電話で開設します（03-3402-7354、4385）。弁護士やベテランのカウンセラーがお待ちしています。ぜひご利用ください。（円より子）

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

第121号 200円 禁無断転載
【発行日】1991年5月1日
【発行所】現代家族問題研究所
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-3-23-504
〒151 電話03(3402)7354、4385
【発行・編集人】円より子
【編集スタッフ】有賀佐知子
【印刷】(株)日出島

121

お母さんが変わると 子どもが変わる

三沢直子

回を追うことに充実してくる研修会。今回など、三十九人の参加者に対してスタッフが十二人も少し過保護で、お母さんたちは「おんぶにだっこ」の気味がないではありません。自主的運営に切りかえようという声もチラホラ。けっこう、企画から運営、大変なんです。六ヶ月前から会場を確保し、当日まで出てしまうキャンセルの応対に追われたり。でも何はともあれ、今回は四人の講師でシンポジウムもあり、その中から、皆さんにも関心の高い「母の心理と子の姿」をご報告します。(円)



三沢先生の説明に見入るお母さんたち

昨年、円先生から、子どもたちがどういった心理状況にあるかを見るテストはないかとの相談を受けまして、合宿のときに描画テストをやってみることにしました。心理テストにはいろいろあるので、描画テストは言葉を使わずに絵で表現するものなので、小さな子でも誰でも受けられますし、また、言葉にはならない心の深い部分までが知らずに表現される、と言われています。そして、どうせならお母さんにもということ、母親教室などで簡単な自己チェックによく使っているエゴグラムをす

ることになりました。

その結果は、昨年のハンド・イン・ハンド第一一四合併号に報告された通りです。それまでは親子一緒にとる機会はありませんでしたので、果たしてどのような結果が出るかと思っていたのですが、母子の結果があまりにきれいな相関性を示していたので、検査に立ち会った円先生共々、本当にびっくりしました。

■厳しい母と萎縮する子

簡単にまとめると、お母さんのエゴグラムが、子どもに対してより批判的で厳しいというパターンが出た場合は、そのお子さんの絵は一緒に縮こまっていたし、人間像もただ小さく記号化されて描かれているだけで、自己像が描かれていない。つまり、お母さんに常に厳しく対応されているために、萎縮し、消極的になって、自己主張もできない状態になっているということが予測されました。

一方、お母さんが受容的で、父親的な厳しさよりも母親的な優しさ勝っている、あるいは少なくともほぼ同じ高さを示している場合のお子さんの絵は、一緒に画面一杯にのびのびと描かれ、自己像

もしっかりと描かれている、という結果が出ました。

実はこのテストは、初めは一般的な傾向を見ようということで行なったのですが、子どもたちが無意識的なメッセージにあふれた絵を描いてくれた、その結果がお母さんの結果と高い相関性を示した、さらにお母さんたちから結果を聞きたいとの要望が強かったなどにより、結局一人ずつのお母さんに結果をフィードバックすることになりました。それは、前の晩にお母さんたちと三時近くまで話していて、皆さんがとてもオープンで、こちらが言ったことをそのまま受けとめる強さと率直さをもっていらっしやるという実感があつたからこそ、可能だったように思います。

お母さんによってはとても辛い体験だったかもしれませんが、でも皆さんとてもしっかりと受け止めてくださったように思います。特に、子どもの絵がかなり萎縮してしまっていた場合は、お母さんもかなり深刻になられて、「どうしたらいいでしょう」と質問なさる方が多かったのですが、ともかく少なくとも一ヶ月間、小言は極力控え

て、なるべく子どものいい面を見てほめるよう努力してみてください、そしてお子さんがどう変化するかを見て下さい、とお伝えしました。

■マザコンは母子家庭に少ない

以上のような前回の結果は、一人親家庭の問題というより、一般的な親子の問題として、親が厳しければ子どもは萎縮するし、受容的であればのびのびと育つという、お母さんの育児態度が、子どもに及ぼす影響の大きさということととらえていました。でも、お母さんが子どもに厳しいという結果が出たのは、すべてお父さんが男の子だったのは、やはり一人親家庭の影響というのがあるのかなと思います。きょうだいがいる場合も、女の子に対しては、それほど厳しくない。やはり男の子に対しては、父親がいけない分、自分がしっかりと育てなければと思って、必要以上に厳しくなることがあるのではないか。さらに、男の子は父親に似ることも多いから、そのような似た面を見せようと、どうしても疎ましくなってしまう、何とか違うように育てようと、つい厳しくなってしまうかもしれない。また一般的に、男の子は女の子より

も確かに育てにくいようです。それは、お母さんと性が違ってちょっと異質なので、どう対応しているか分からないという面があるからかもしれません。それで、あまり甘やかしてはいけないから、やはり厳しくしなければ、と思ってしまうのではないのでしょうか。

この点に関して、両親の揃った家庭では、逆に男の子に対してベタベタな場合が多いように思えます。特に夫婦関係があまりよくない場合、夫の代わりに息子とベタベタして、大きくなって恋人同士のような関係をとってしまう。それで、マザコンから抜け出せないまま大きくなってしまった男性が、とても増えていきます。一般的には、母子家庭だと母親と息子が密着し過ぎてマザコンになりやすいと思われがちですが、それは偏見で、むしろ自己規制が働いて、お互いあまりベタベタしない。テストの結果からは、むしろそういう規制が働きすぎてきびしくなり過ぎていっているのかな、という感じさえしました。

■子どもの素晴らしい回復力

今回、約半年振りにまた親子で心理テストを受けられた方が六組

あったのですが、いずれもいろいろな形で、良い方向での変化を示していっていらっしゃいました。そういう意味では、心理テストをとり、その結果をお母さんにお伝えしたことが、たしかに予防的効果があったと大変嬉しく思っています。

例えば、図1と2の変化を御覧下さい。図1の前回描いた絵は、画面一杯に描かれて、エネルギーを感じられますが、全体的に木も人も犬もすべてがトゲトゲして、攻撃的と言うか、心の中に怒りかか、うっ積しているのではないかと、という感じがする絵です。お母さんの話では、やはりお父さん



図1

が暴力的だったため、同じになっては困ると、かなり厳しくしていたということでした。相談室にも変な状況などお聞きし、最後に「しばらく優しくするよう頑張ってみます！」ということでお帰りになったのですが、半年経って行なった今回のテスト結果は、図2のような劇的な変化を示していました。お母さんのエゴグラムも、前は図3のように、厳しさと優しさがほぼ同レベルだったのですが、今回は図4のように、優しい母親がトップの山型で、より自己肯定、他者肯定のバターンとなっていました。

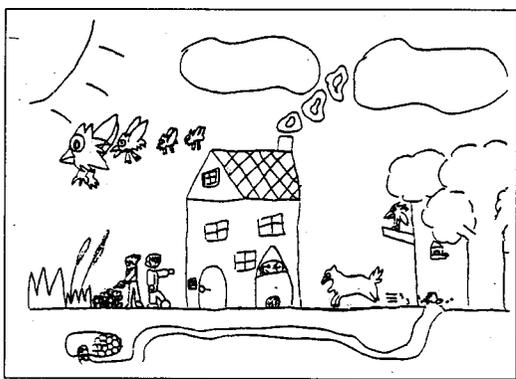


図2 (図1の半年後に描いたもの)

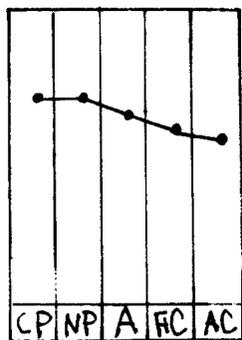


図3

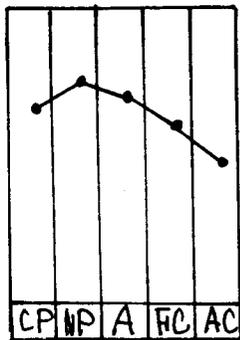


図4

た。そういうお母さんの努力の結果が、お子さんの絵にもこんなにはっきりと表れたわけです。お花に水をやっているのが自分だ、ということで、そういう生き物を育てる優しさとか、モグラがせつせとえさを集めているところとか、とても調和したポジティブな世界に変わっています。これを見ますと、子どもの回復力とか変わる力というのは素晴らしいものだ、お母さんの変化によってこれだけドラマティックに変わるものだ、ということがよく分かります。

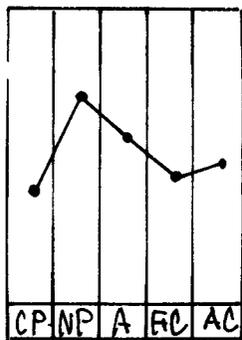


図5



図6

もう一つの例は、まずお母さんのエゴグラムの図5から6への変化です。前回は、まだ離婚して三か月足らずの頃で、その時のエゴ

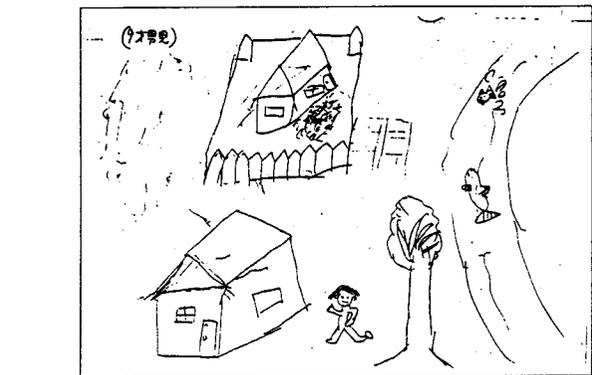


図7

グラムのパターンは、日本のお母さんに多く見られる、自分を殺して周囲に合わせるN型を示していました。そして、半年後の図6は、冷静で客観的なAが高くなって、従順なACが低くなり、働く自立した女性に多く見られる山型を示しています。お子さんの絵も、図7から8のように変わりました。前は、二軒の家が描かれていました、お母さんの解釈によると、上部の塀に守られている家が離婚前の家だったようですが、今回は遠くに小さくなって、ほとんど消えかかっています。ここで面白いのが、お母さんのエゴグラムでは受容的なNPが高く、お子さんのありのままの姿を受け入れる姿勢が

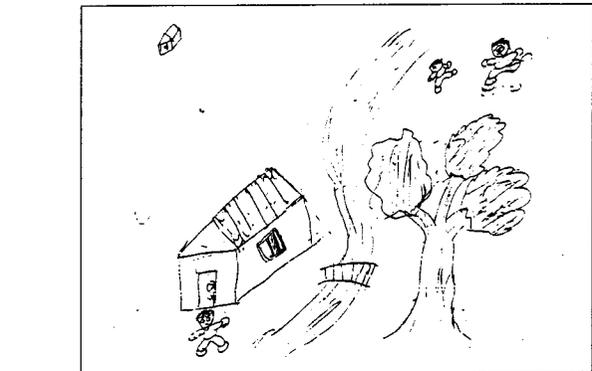


図8 (図7の半年後に描いたもの)

あるために、お子さんも前の家を表現できたのではないかとということとです。それは、前回のテストで、唯一ご主人に対して良い感情が残っていたお母さんのお子さんだけが、兄弟揃って描画テストにお父さんも描いていたことと似た現象です。子どもは、両親の離婚に際して、いろいろな複雑な思いを抱きながら、徐々にそれを消化し、乗り越えていくわけですが、もしお母さんが厳しくて、「前のことなんか忘れなさい！」とただ封じてしまふなら、子どもはそれを吐き出すこともできず、かえって未消化なまま心の底に残ってしまうこと

もありません。ですから、せめて子どもが自分の思いを意識的にしろ無意識的にしろ自由に表現できるよう受け入れてあげることが大切なことなのです。

紙面の都合上、他の方のご紹介ができず残念です。最後に、こうした心理テストは「自分自身が満足して生き生きと暮らしているかどうか」、「良い方向に変えるために、具体的に改善できる点は何か」を考えるきっかけとして使ってくださいたら、とても幸いです。

三沢先生の相談室

毎週金曜午前十時〜午後五時

TEL〇三(五二七六)〇三二六

合宿レポート 人間関係—— 離婚前と後

■一日目

初日は、エコマップを使って語る「自己紹介」を行いました。

「エコマップ」とは、自分とまわりの人間関係を図式化してみて、どんな人たちと関係をもちながら生活をしているのか、だれによって支えられているのか、どのようなひとたちと関係をつくっていききたいかについて考えてみるためのものです。離婚は、一組の男女が共同生活を解消することだ、という言い方ができます。しかし、共同生活を解消することによってそれまで営んできたまわりの人間関係も変化してきます。その変化した状況を客観化してみると、離婚によっていままでの関係の多くの部分を失ってしまうのか、それともかえって多くの関係を形成できるようなったのかがわかってきました。それまでの関係形成が「の妻」「の母」「の家の嫁」という役割によって形成されている場

合には、離婚によって多くの関係が失われてしまうことが多いでしょう。しかし、それまでの生活や離婚後の生活のなかで、妻や母、嫁という役割以外に、一人の女性として、社会人として、大人として人間関係を多くもっていたとしたら、離婚によって失った人間関係もあるでしょうが、その他の人間関係によって支えられる体制ができていくことでしょう。そしてこのような人間関係の広がりをもつことは、離婚問題に直面していなくても、一般的に女性が自立した生活を営むための必要条件であると思います。

このような意味を確認しながら作成したエコマップに基づき、一人ひとりの自己紹介を行いました。参加者のひとりYさんは八年間の結婚生活の大部分が家庭内別居の状態、夫とこれ以上生活していく気持ちをし、別れようという度まで話し合ったり、家出をしたりしましたが、夫は応じませんでした。今は二年間我慢して自立のための準備をしようと思っています。専業主婦が学歴や資格もなく、子どもをかかえて生活していく困難は、参加者の多くが体験

的に共感することができ、それだけに「二年間の我慢」の意味について皆で議論になりました。経済的な自立だけの問題であれば、「その気になったらなんとでもなる」とダンボールひとつで子どもと家を飛び出し、ゴルフ場のキャディとして住み込んだ人、思い切った生活保護を受給した人など様々な経験や知恵があります。しかし、今のYさんにとっては「離婚のこと、自立のことを心ゆるして話しあえる人が欲しい」という願いにあら



お好み焼きに挑戦!

われているように、女性が自立した生活を営むために必要な人間関係を造っていくなどの「エネルギーの充電期間」として二年間の意味があるのではないかと意見もだされました。皆さんはどう考えられますか。

■二日目

二日目の午前中は「子育て後の女性の自立」をテーマにシンポジウムを行いました。各シンポジストがこのテーマのもとに、母子関係のありかた、自立のための社会資源の活用、アメリカの親子関係の問題などの報告がありました。

午後は、子育て後の自立と母子関係について二つの分科会がもたれました。母子関係の分科会では、母子家庭の生活を支える社会資源がどんどん縮小されている例として学童クラブ室にはいりにくくなっていることが報告されました。また子どもが学童クラブに行きたくない、学校になじめないなどの悩みもだされました。

子ども自身の生活にも注目してみると、私たちの時代とかなりさまがわりしていることに気づきます。子どもはとにかく忙しい。絶えず誰かに見られている。大人の

期待が大きすぎる。そんなことに気づきませんか。

今年高校生になった子が親にこんなことをいったそうです。「おおかさんや学童の先生は、ぼくが放課後ドッジボールや野球をやって元気に走りまわる子になってほしいとずっと思っていました。でもぼくは放課後は図書室です」と本をよんでいたかったし、寝ころんでいろんなことを空想していたかったんだ」

親自身が、主体性をもった女性として自立したいと努力している時、一人ひとりの子どもも個性をもっており、それを主張することが大切なのだと教え、それをみとめあえる人間関係＝親子関係をつくっていききたいものです。

今回は、参加者は各プログラムで自由に意見をのべあうことができたのではないのでしょうか。互いに共感しあったり、意見をのべあったりしながら、またつぎの機会に交流しようとする、春合宿を終えました。この他に合宿ならでの「談話室」夜話や、電車の行き帰りのエピソードもたくさんありますが、紙面の都合で、ご報告できないのが残念です。

合宿・子ども編

今回参加の子どもは二十三人。大人十六人に対し圧倒的多数。でも数だけじゃありません。プログラムだってお母さんたちに負けないくらい充実したものでした。

■三月三十日（一日目）

まずは、はち切れんばかりのエネルギーを発散。あいにく空はどんより曇り空でしたが、雨が降ってこないうちに、グラウンドで鬼ごっこやつくしとり。次は子どもたちお気に入りの体育館へ。バスケットボールや野球の道具はもちろんのこと、フラフープに縄跳び、その他いろいろ揃っていて、何時間でも遊べる。何度か体育館を利用して子どもたちは自分達流に道具を使いこなし、新しいゲームを考え出す。

力を発散した後は描画テスト。夜は子どもたち同士で同じ部屋に泊まりました。お母さんが心配して部屋を覗きにきて、「お母さんは邪魔。あっち行って」。

お母さんの方が目をばちくり。

■三月三十一日（二日目）

午前中は前日よりさらに頑張っ

て遊び、午後からはおやつ作り。今回はお好み焼きに挑戦。嵐山での「ハンド子ども料理教室(?)」もすっかり恒例になったのか、合宿の申込みの手紙に「お料理教室に命をかける娘とその母より」なんて書いて送ってくれたり、「えーっ。お昼ごはんを作るんじゃないの?」なんて声も聞こえて来ました。

大きいのやら、小さいのやら、こんがりきつね色のもあれば、中がちょっぴり生焼けのもありました。が、とにかくみんなでおいしくいただきました。そしてお母さん達にもお裾分け。でもただではあげられない。一切れ五十円で子どもたちが売りに行きました。「少しまけてよ」というお母さんの声に「だめ!」としっかり者さんばかり。でもここだけの話、自分の作った特大のお好み焼きを絶対お母さんに食べてもらうんだと、お皿をかかえこんではなさなかった子もいたんですよ。きっとそれはどこの誰が作ったお好み焼きよりおいしかったはず。

■四月一日（最終日）

学校や保育園の関係で一泊で帰らなければならぬ方が多く、この日は大人も併せて二十名しか残

れなかったのですが、人数が少ないうちにのんびり、楽しくすごしました。

☆☆☆☆

今回の合宿。何といっても子どもたちの成長に驚きました。お母さんに追いつけ、追越せ、すっかり背が伸びて、と目に見える成長はもちろん、目に見えない成長をうんとしていました。前回までお兄ちゃん、お姉ちゃんに面倒をもらって一方だった子が、初めての参加ですぐに輪に入れなかった子を引張って行ってあげたり。ここには書ききれないほどのエピソードをいっぱい残してくれました。

最後に。ヘトヘトになって子どもたちと遊んでくれたボランティアのお兄さん、お姉さんたちどうもありがとうございました。



体育館で

小林カツ代の クイック クック

夏野菜重ね



初夏ならではのさわやかなおかず。サラダのような、和え物のような、それでいてね、ポリウムがあり、ご飯のおかずにも最適。

作り方は実に簡単。そのコツはまずゆでたての肉に、しっかり味をつけ、その上に野菜をのせていきます。そうすると野菜から自然に出たおいしい汁が下にいる肉までゆっくゆっくしみこんでいくんです。肉、野菜ときれいに重ねたまま食卓に出し、さあ、食べましょうという時に底から大きくませます。今月もアツという間のお料理でした。

〈作り方〉

- ①大きめの器にんにく、生姜を少しすりおろす。そこに醤油、こしょう少々を入れてざっとませる。
- ②アスパラガスの下の固い部分を切り落として四等分にする。トマ

トは縦四つ切りにし、それを五ミリ幅に薄切りにする。

③鍋にたっぷり熱湯を沸かし、まず、アスパラガスを程良い固さに茹でて、ざるにあげて水気を切っておく。

④次に牛肉を広げ、ヒラリヒラリと入れて茹でて、アツアツのころを①のたれにつけこんで味をしかりなじませる。

⑤④にトマト、アスパラガスの順に重ねる。そのままおき、食べる直前に全体を和える。

夏野菜重ね

(2~3人分)

牛肉薄切り	200g
グリーンアスパラガス	1~2把
完熟トマト	2~3個
にんにく	少し
生姜	少し
醤油	大さじ2
こしょう	少し

Q

再婚します。障害は氏です。私は離婚のとき復氏しました。再婚によりまた氏が変わると三年の間に三つの氏を名乗ることになり何ともやりきれません。勤務先や学校やいろんなところに離婚したこと、再婚したこと等不用心に公開するのがいやなので。氏を変更しないで再婚する方法はありますか。

A

正式に結婚しようとするなら、夫か妻の氏を夫婦で称することに、夫婦別姓は日本では認められていません。離婚や結婚などのプライバシーを公開することが制度的に強制されていることは、離婚が夫婦の合意によってのみ成立するという憲法上の原則からも問題があります。氏を結婚によって変更しなければならぬということとは、氏名権を軽視しているだけでなく、自分の氏で仕事を続け実績を上げてきた男女にとつて著しい精神的・経済的・社会的損失を与えるもので、多くの人が辛い思いをしています。制度的には男女何れの氏でも選択できるわけで、一見男女差別には該当しないようですが実際には圧倒的

弁護士 110 番

多数で女が氏を変更しています。男女平等は機会の均等だけではなく結果の平等を実現しないと本当の平等にはならないので、夫婦同氏の強制は男女平等の原則にも反すると言えるでしょう。

現状で貴女が氏を変更しないで結婚するには、①夫に氏を変更してもらおう②婚姻届を提出しないで事実上の婚姻をする③戸籍上は氏の変更をするが、通称として旧姓を使用し続けるの三方法があります。①は人を愛して結婚するとき、自分でいやなことを愛する相手にさせられないという思いが働かし、男のほうも養子に入ったみたいで嫌だとか抵抗が強い。②は子どもが非嫡出子として差別され、配偶者が死亡したとき相続出来ないというデメリットがある。③は職場が戸籍にこだわり、女の氏に関するこだわりや利害に無理解な場合は通称使用を認めてもらうだけでも大変ですね。

抜本的な解決は、女の底力をいろんな領域で示して、夫婦別姓を勝ち取るしかないようです。

弁護士 竹川幸子
☎06-365-11680

ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わって
くるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと
思います。お便りをどんどんお寄せください。

■強くなって卒業します

(東京都)

三月の声とともに急に春らしくな
ってまいりました。ちょうどこの
三月で入会して三年になります。
離婚して二年と三ヶ月、苦しい
時期を支えていただきました。今、
すっかり精神的にも落ち着き、元
気に働いておりますのも毎月ハン
ドを心待ちにしたあの時期があっ
たからこそと感謝しております。
昨年はリュウマチが悪化して歩行
困難になったため退職しましたが
療養中に第一歌集を上梓すること
ができました。体調が良くなりこ
の一月からものと職場に復帰もか
ないました。中年の私には小さな
お子持ちの方々とは違った問題点
があり、その中で少しでも充実し
た日々を生きるべく努力しており
ます。

私も卒業という一つの区切りと
して退会させていただくこととし
ました。そしてまずこの四月から
尊厳死(リビング・ウィル)協会

に入会することに決めました。一

人ぼっちでないということがどれ
ほど私を心強くしてくれましたこ
とか。子どもの頃からずっと庇護
されることに慣れてしまっていた
私がこんなに強くなって卒業でき
ますのを嬉しく思っております。
ありがとうございました。ハンド
の会の発展と皆様のご自愛をお祈
りいたします。

■調停のこと

M・M(兵庫県)

親権者変更の調停は現在五回に
及んでいます。私自身は元配偶者
との子どもの取り合いを望んでい
るのではなく、親も子どもたちも
この離婚の現実を正しく認識する
中で、親である彼と私がどう協力
し合い子どもたちの成長に関わる
かという関係を求めています。私
自身彼との離婚の原因が単なる個
人レベルでの問題で考えることは
正しくないと思っているわけです。
彼の弟夫婦、親、親戚、また彼の

家の周囲の人々で、私が出ること
になったことに関しては十分
理解されており、私に対してもみ
んな協力的で、精神的援助もやっ
てもらっています。しかし、家父
長制をひきずり、企業戦士の彼の
中には自分が原因であるが、出た
のは私が100パーセント悪く、自
分と子どもを捨てたというわけ
です。そして何度か重ねた調停の中
でも、「いくら調停で子どもが母親
のほうに行くことになっても力づ
くて絶対に渡さない」とか「子ど
もが欲しければ俺を拘束せよ」な
どと調停員の前でも居直っていま
す。本質を見抜き、子どもたちと
の関わりをお互いが持っている
求めて行くことの大切さを、彼の
なかにみつける眼を求めて、これ
からもガンバル決意ですが、現状
打開が早急にできればと思ってい
る次第です。

■円満な家庭を築いて

M・S(広島県)

ハンドを読ませていただいて、胸
にせまるものがあります。皆様の
お気持ちも良く分ります。

人生は後もどりはできません。
けれどやり直す事はできると思
います。長い人生、一度失敗したか
らといって落ちこんでいては益々
悪化するばかりです。

同じ未亡人でも、離婚と死亡と
では世間の風当りが厳しいものが
あります。偏見、差別、経済的に
も問題があります。そんな中で女
手一つで子どもと共に生きて行く
のは並大抵のことではありません。
片親の子どもは何かにつけて差別
され、また問題があると聞きます。
理解し合える相手があれば、円
満な家庭を築いて子どもを育てる
事が大切と存じます。人生は、後
世に残る物は子どもだけと思いま
す。子どもを立派に育てる事が一
番大切かと存じます。

私の五十年来の経験より。人一
人の力は弱いけれど、大勢集まれ
ば強くなります。皆で力を合わせ、
男女平等、社会保障等充実してい
く様、努力して行きたいものと思
えます。



春合宿より

■離婚—数々ある時代に

M・Y (富山県)

いつになくNHKラジオを聞いていたら「円さん」と聞こえたので、もしかして円より子さんかなと思いました。初めて声を聞いて益々ファンになりました。

ハンド・イン・ハンドを読んでいる者です。私の住んでいるところはK市といっても田舎です。でも私のまわりにも「リコン」が特別なものではないほど数々ある時代になりました。けれどまだまだ女のほうが批判されている現状です。

■私もあと四、五年したら

(千葉県)

毎回楽しみにしています。一二〇号栃木の加藤さんの「子どもが、大人になってしまった」は涙して、読ませて頂きました。「夕食の支度のなすり合いも、あらゆる事のおせっかいいも、心配もなーんにもなくなりました。仕事が辛い時、大声で歌って泣いてやっとな人で生きていた」。

どれほど、頑張って子どもさんを育ててこられたことか。だからこそ、今、心にポッカリ穴があいた様な気持ちなのでしょうね。私も、あと、四、五年したら、きっと、皆さんの様な気持ちを味わうのでしょうね。さん、くれぐれも、体に気をつけて頑張ってください。

■お友達になって下さい

(千葉県)

毎月、楽しみにしております。入会して、五年もたちました。二人の子どもの親権を、これから申し立てしようと思えます。

千葉県あるいは松戸にお住まいの方と、お友達になりたいと思っておりますが、むずかしい様です。是非この欄を借りて、お願い致します。円さんのテレビ、新聞、などでいつも力づけられております。これからも、身体には充分気を付けて、働いて下さい。私も、四五才ですが、どうにか勤務しております。

(夜でしたら、お電話下さい)

振り込み通信欄より

★毎回楽しみに拝見しています。離婚して早八年となります。別れた夫とは子どもをはさんで家族ぐるみの付き合いもできあがり、何とか元気に暮らせることを感謝する毎日です。(東京都 T・N)

★長い間の購読でたいへん勇気づけられました。今では子どもも社会人となり、協力してくれて一応安定した生活を送っております。これからは自分の健康に気をつけて楽しく送れる様がんばるつもりです。(神奈川県 S・T)

求人案内

ファッション関係の卸売会社の
一般事務・営業事務募集。
時間……午前九時半～午後六時
最寄駅……都営地下鉄・東日本橋
JR総武線・馬喰町

給与……十八万円以上
社会保険等有り
お子さんのいらっしゃる方も歓迎。時間等相談の上。パートも可。別にバタンナーも募集。
詳細は 〆まで。

■事務局便り■

☆五才くらいの女の子とお父さんが、スーパリーの袋を手をさけて、楽しそうに私の前を歩いていました。追いつくときに聞こえたのが、お父さんの口ずさむビリー・ジョエルの「素顔のままで」。なかなかお洒落なシーンでした！ (有賀)

☆家族に学校通いがいなくて入学や卒業など学校行事に関わる機会がなかったからか、気がついたらいつのまにか桜が満開。今年には電車の窓から眺めるだけで終わりそうです。(石橋)

☆四月五月にかなり本が出ます。金住先生との共著「離婚相談の手引き」(全社協)と、「夫、あぶない——神話を失くした男たち」(ちくま文庫)、「再婚時代」(筑摩書房)、「離婚女性成功物語」(時事通信社)です。

本が出るのは嬉しいけれど、原稿の締切りに追われているのに、ドサッドサツと校正刷りが届き、毎日、活字ばかり見て、目が変になっちゃいました。この二カ月治らない風邪を早く治したい。(円)



第一二七回ニコニコ離婚講座

五月二十五日(土) 一時半～五時
飯田橋セントラルプラザ6Fで
(JR飯田橋駅下車隣り)。犬養並
美さんの「子どもの目から見た離
婚」と金住典子弁護士による「離
婚の法律」。参加費は千五百円。電
話で予約を。

☎〇三(三四〇二)七三五四

会合のお知らせ

☆東京の会合

五月二十五日(土) 午後六時半～
円より子の表記事務所でのハンドの
発送とおしゃべり。ご協力を。

☆大阪のニコニコ離婚講座

五月二十五日(土) 午後一時半～
四時。大阪府立文化情報センター
(住友中之島ビル5F) 第一・二セ
ミナー室で。講師は母子相談員・西
村明子さん、竹川幸子弁護士。
会合は五月四日(土)、六甲山カン

トリハウス・有馬方面にピクニ
ック。午前十時、JR六甲北側バ
スターミナル集合。弁当、雨具、防
寒着持参。

離婚制度研究会のお知らせ

五月二十八日(火)、午後六時半～
千駄ヶ谷社会教育館2Fで。子ど
もの権利、養育費、親権など、こ
れまでのテーマをさらに煮つめて
いきます。参加費無料。どなたで
も自由にご参加下さい。

離婚一〇番相談員養成講座

福山和女先生の第三期の研修が始
まります。五月九日～七月二十五
日までの毎木曜、午後六時半～。全
十二回。費用はハンド会員は割引
で二万五千円。会場は千駄ヶ谷
まで。

第二期を受講したハンドの方から
「相談におけるコミュニケーション
の勉強が、子どもをはじめ様々な
人との関係を考えるのにとっても役
立った」という声。電話相談員に
こだわらず、受講してみませんか。

●ハンド 求人案内●

★ニッセイ(NISSAY)に
あなたの自立をお手伝いさせて
いただけませんか? 勇気をもっ
て飛び込んでみましょう!!
ぜひ一度新宿NSビルでの会社
説明会に参加してみてください。
詳細はこ一報いただければ資料
をご送付させていただきます。

新宿NSビル6F

日本生命新宿NSビル支部

担当 守屋 迄

☎〇三(三四一〇)七三三～四

お待ちしております。

☆離婚一〇番

〇三(三四〇二)七三五四
〇三(三四〇二)四三八五
電話相談は第一、第三土曜日が
午後一時～四時。第二、第四、
第五土曜日が午後六時～九時。

購読料について

現在つぎの三通りの方法をとら
せていただいています。

- ① 一年間三〇〇〇円(送料共)
- ② 二年間まとめて前払いして
くださる方には、二年分、
六〇〇〇円のところを五〇
〇〇円に。
- ③ 出世払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつで
も遠慮なく申し出てください。
それぞれ出費が多く大変でしょ
うが、期限切れの通知の入った
方、またはこの折りにという方
いずれも都合のよい方法でど
うぞ。

(振込先) 各地の郵便局にて
振込用紙は無料でもらえます。
東京一四一(二〇五)四二一
ハンド・イン・ハンドの会